

## 様式第二号の九（第八条の四の六関係）

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月28日

高知県知事 濱田 省司 殿

## 提出者



住所 高知市針木東町27番28号

氏名 ミタニ建設工業株式会社  
代表取締役 三谷 剛平

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-844-2111

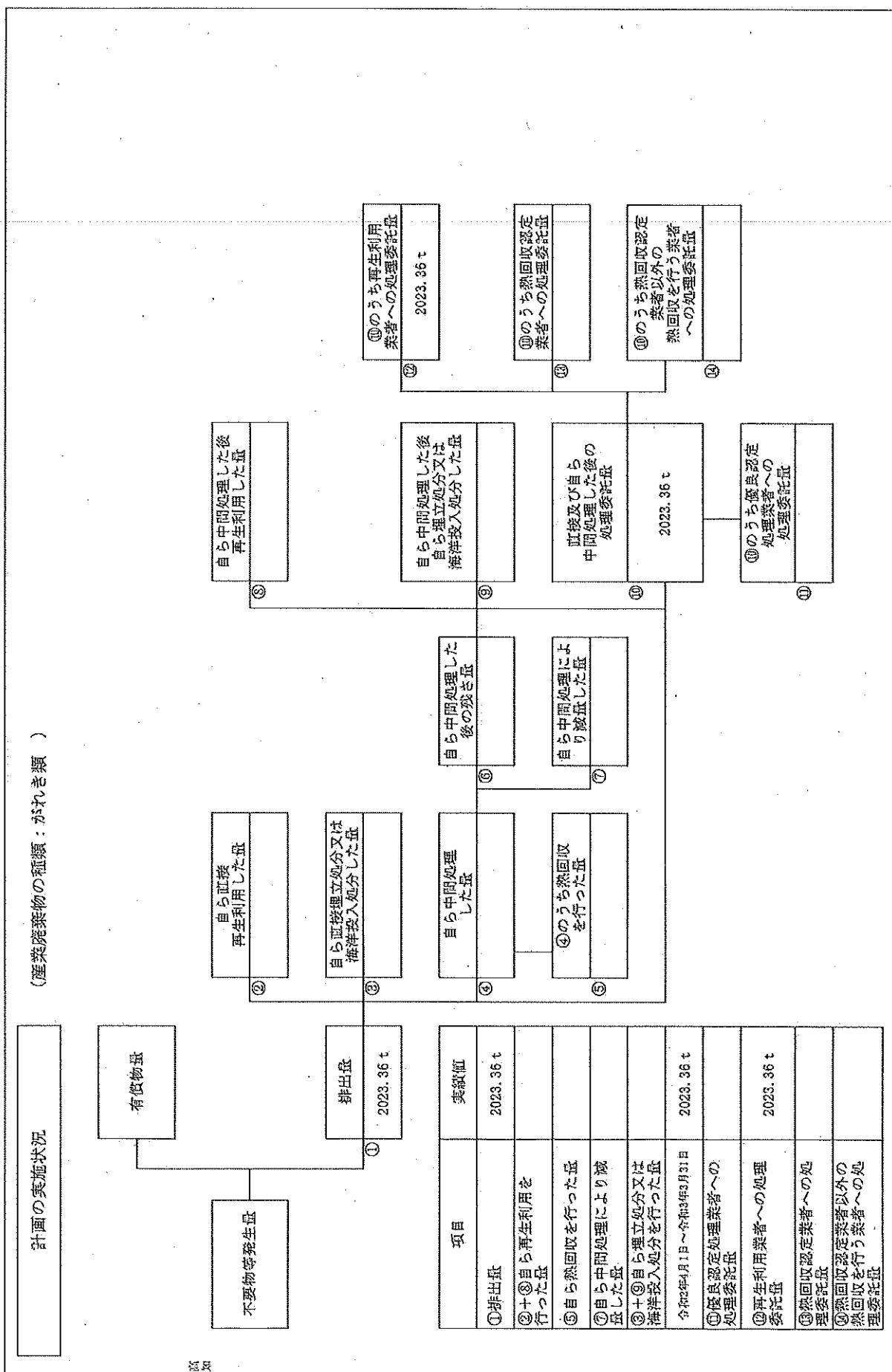
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	令和3-4年度 吉野川水系谷奥谷堰堤工事 他
事業場の所在地	高知県吾川郡いの町長沢地先 他
事業の種類	建設業（総合工事業）
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

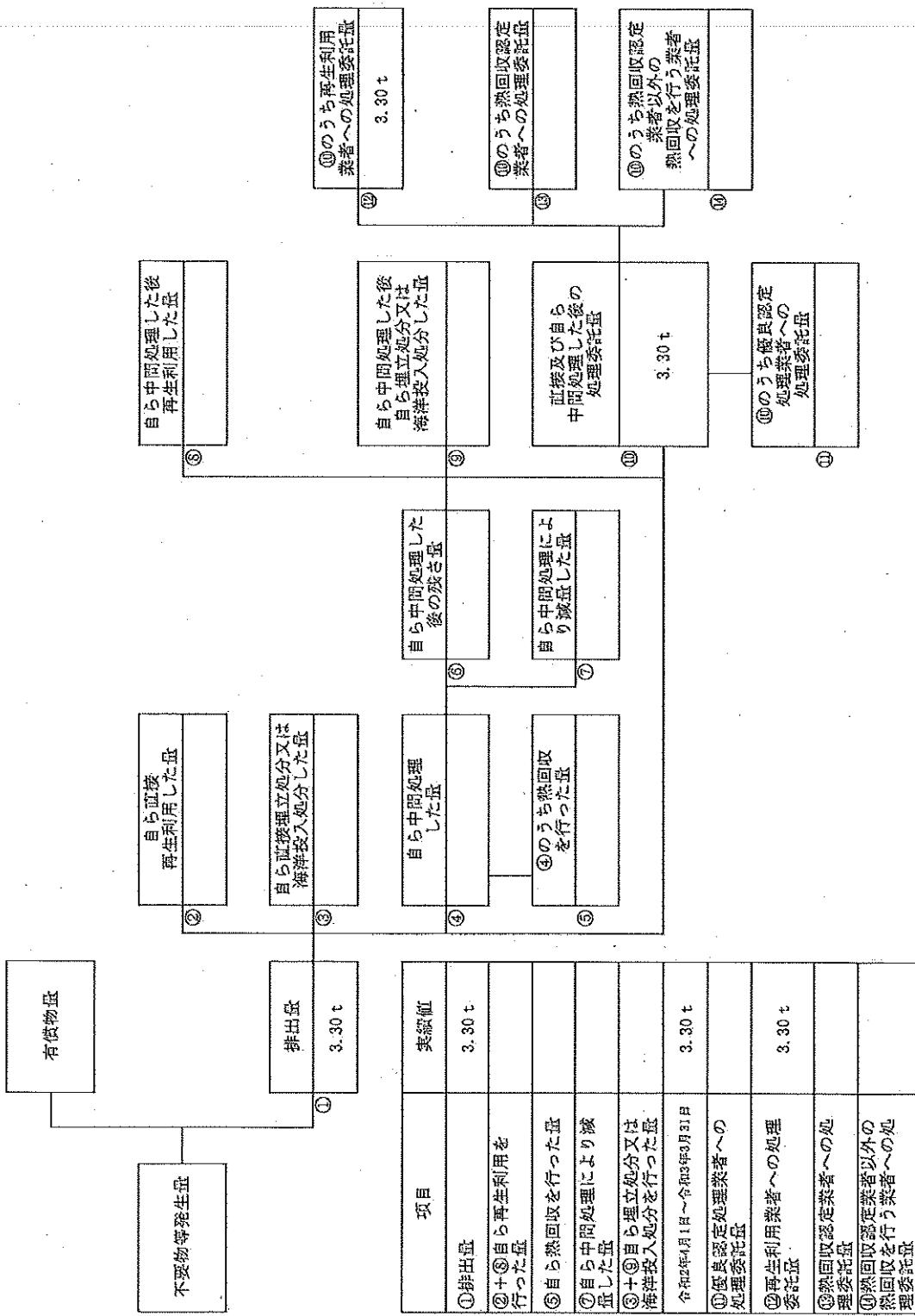
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2240 t	全処理委託量	2240 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	2240 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



## (第2面)

## 計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 汚泥 )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

有機物質

不要物等発生量

排出量  
① 5.12t

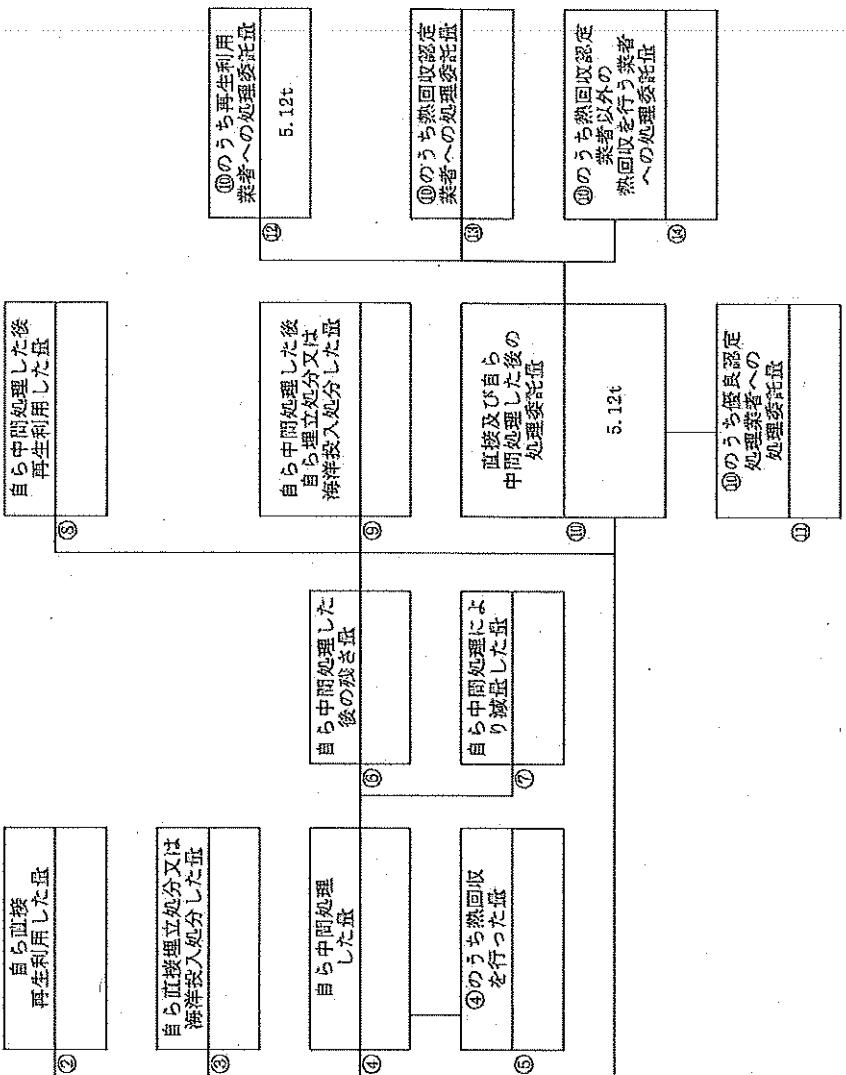
自ら回収  
再生利用した量  
②

自ら中間処理  
した量  
③

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
④

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑤

項目	実績値	
①排出量	5.12t	
②+③自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
⑨自ら埋立処分を行った量 令和3年1月1日～令和3年3月31日	5.12t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量		
⑫再生利用業者への処理委託量	5.12t	
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		



(第2面)

## (第2面)

計画の実施状況  
(産業廃棄物の種類:木くず)

有価物量

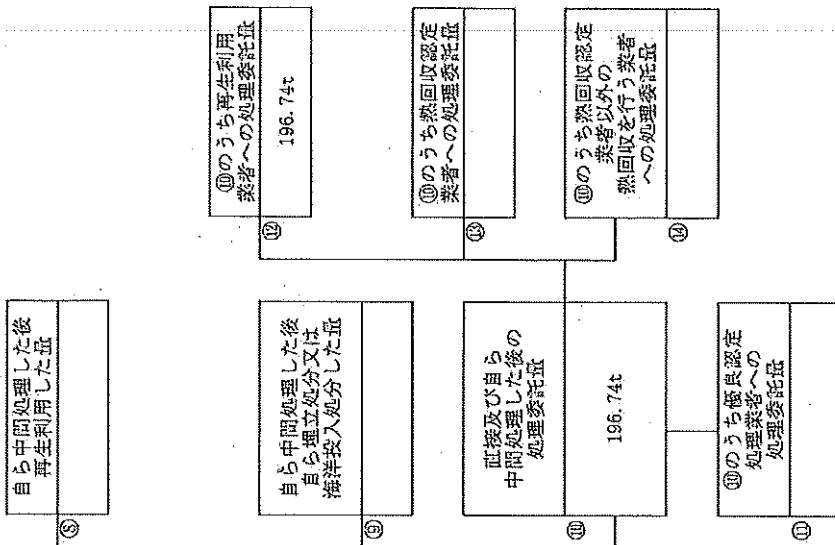
不要物等発生量

自ら直埋立処分又は  
海洋投入処分した量

排出量  
① 196.74t

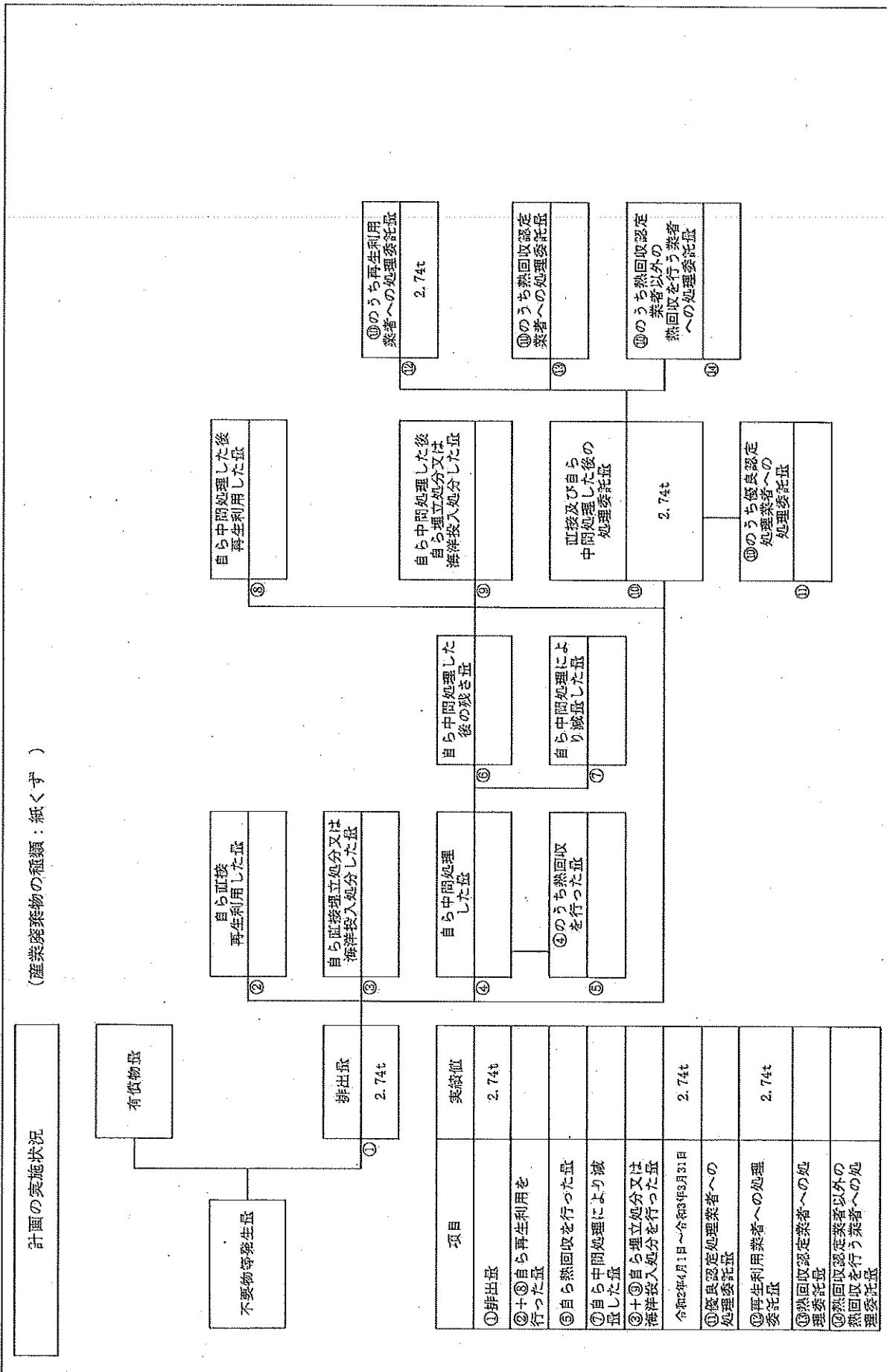
自ら直埋立処分又は  
海洋投入処分した量

項目	実績値	
① 排出量	196.74t	
②+③ 自ら再生利用を行った量		
④ 自然回収を行った量		
⑤ 自ら中間処理により減量した量		
⑥+⑦ 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		
合計2024年4月～令和3年3月31日 ⑧ 質良認定処理業者への 処理委託量	196.74t	
⑨ 再生利用業者への処理 委託量	196.74t	
⑩ 燃回収認定業者への処 理委託量		
⑪ 燃回収認定業者以外の 業者への処理委託量		



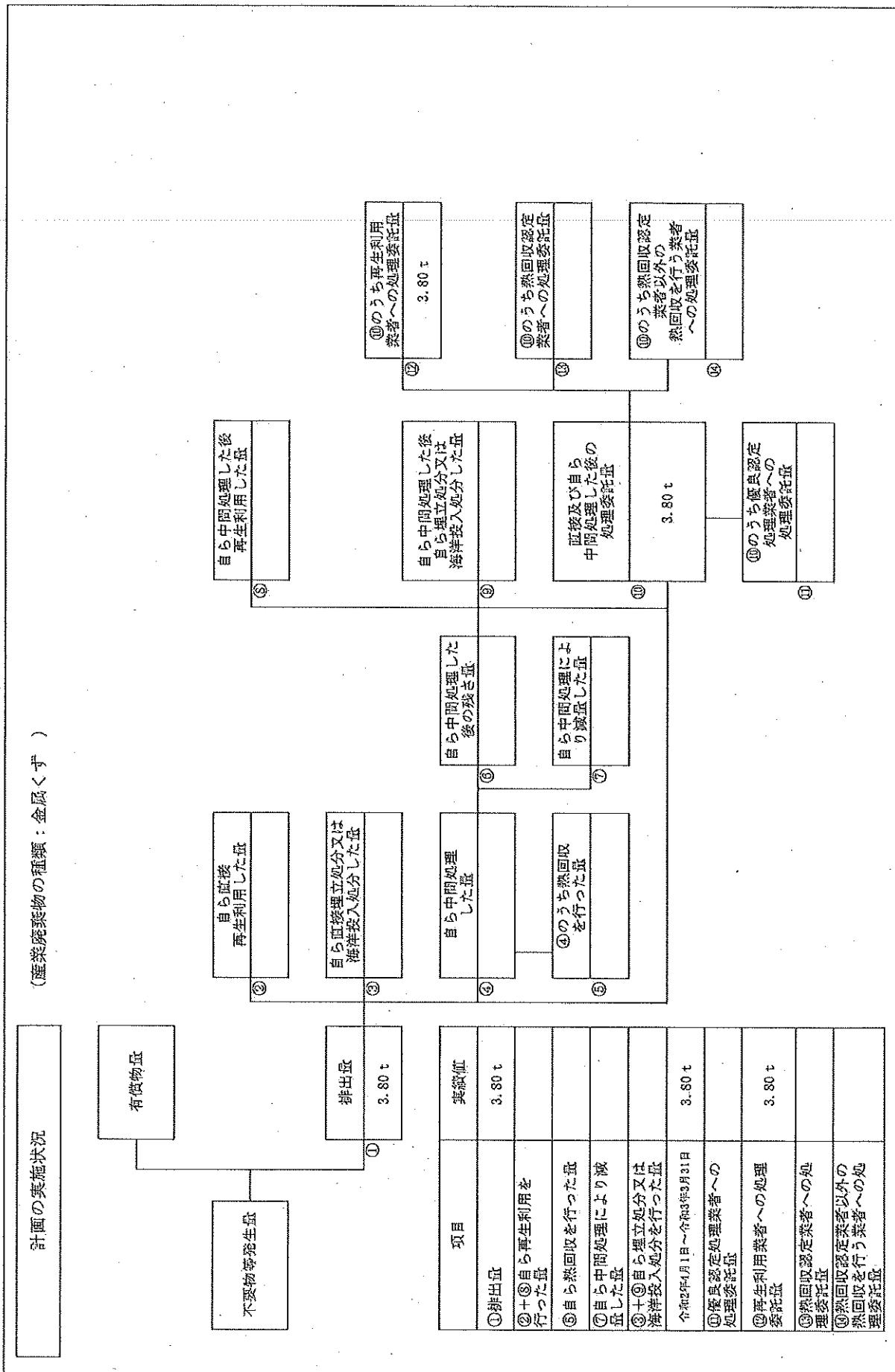
## (第2面)

## 計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: 紙くず)



計画の実施状況

(廃棄物の種類：金属くず)



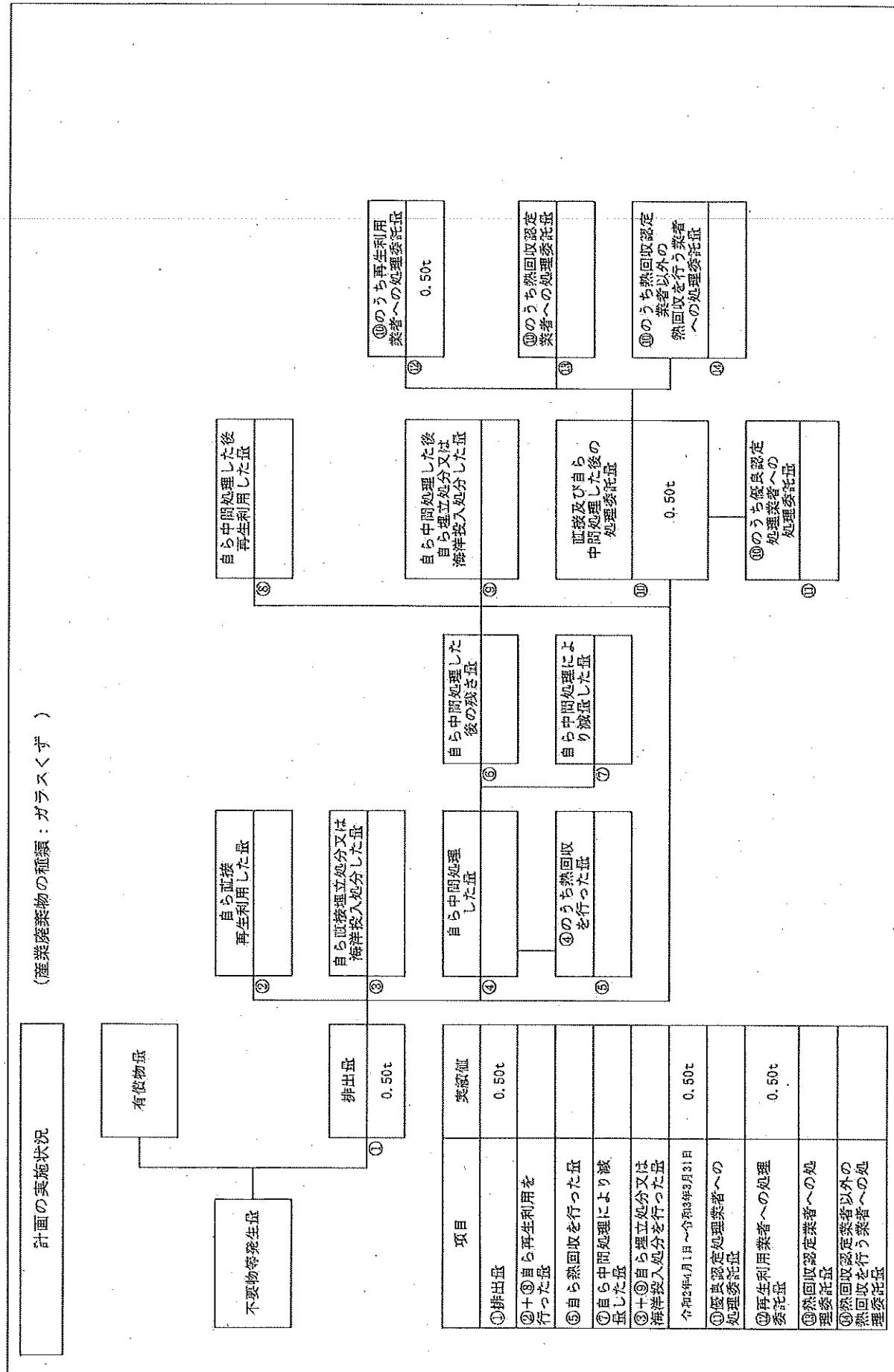
(第2面)

計画の実施状況	
項目	実績値
排出量	0.28t
有償物量	
不要物等発生量	
自ら回収した量	
自ら回収立処分又は海洋投入処分した量	
自ら中間処理した量	
自ら中間処理による回収を行った量	
自ら燃回収を行った量	
自ら中間処理により被処分した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
合計2年4月1日～令和3年3月31日	0.28t
①燃良認定処理業者への処理委託量	
②再生利用業者への処理委託量	0.28t
③燃回収認定業者への処理委託量	
④燃回収を行いう業者への処理委託量	
自ら中間処理した後再生利用した量	
自ら中間処理した後の残さ量	
自ら中間処理した後は海洋投入処分した量	
自ら中間処理した後熱回収認定業者への処理委託量	
自ら中間処理した後熱回収を行いう業者への処理委託量	
⑤のうち再生利用業者への処理委託量	0.28t
⑥のうち燃回収認定業者への処理委託量	
⑦のうち燃回収を行いう業者への処理委託量	
⑧のうち燃回収認定業者への処理委託量	
⑨のうち燃回収を行いう業者への処理委託量	
⑩のうち燃回収認定業者への処理委託量	0.28t
⑪のうち燃回収認定業者への処理委託量	

(第2面)

計画の実施状況	
(産業廃棄物の種類：廃石膏ボード )	
不要物等発生量	有機物量
排出量	自ら直接 再生利用した量
① 4.37 t	②
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 再生利用した量
③	④
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 再生素材へ処理委託量
⑤	⑥ 4.37 t
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 熱回収認定業者へ処理委託量
⑦	⑧
自ら中間処理により減 量	自ら中間処理により減 量
⑨	⑩
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量
⑪	⑫ 4.37 t
自ら中間処理により減 量	自ら中間処理により減 量
⑬	⑭
自ら中間処理した後 再生素材へ処理委託量	自ら中間処理した後 熱回収認定業者へ処理委託量
⑮	⑯
自ら中間処理した後 熱回収認定業者へ処理委託量	自ら中間処理した後 熱回収認定業者へ処理委託量
⑰	⑱
自ら中間処理した後 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	自ら中間処理した後 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量
⑲	⑳

## (第2面)



(第2面)

## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画」#####  
した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) 令和2年4月1日～令和3年3月31日  
第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑪欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑫欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。